

平成25年度 沖縄県地域統括相談支援センター主催

がんピアサポート研修会

報告書

件 名： がんピアサポート研修会～これからピアサポートをはじめる人へ～

日 時： 1日目 平成25年10月13日(日) 午前10:30～午後5:00

2日目 平成25年10月14日(月・祝) 午前9:00～午後4:00

場 所： 沖縄県医師会館

参加費： 無料

対 象： がん患者・がん患者の家族

※ただし、原則として最終治療後2年以上が経過して、現在病状が安定されているがん患者およびがん患者のご家族。

主 催： 沖縄県地域統括相談支援センター

共 催： 琉球大学医学部附属病院がんセンター

後 援： 沖縄県福祉保健部

■チラシ表（A4両面フルカラー）

※修了者・県内患者会や医療機関に配布

平成25年度 沖縄県地域統括相談支援センター主催

がんピアサポート 研修会

～これからピアサポートをはじめる人へ～

企 画 主 旨

このたび、沖縄県地域統括相談支援センターでは、がん患者さんやご家族を対象に「ピアサポート」に関わる基本的なスキルを身に付けていただくことを目的に「がんピアサポート研修会～これからピアサポートをはじめる人へ～」を開催いたします。今まで患者会などでピアサポート活動されてきた方も、これから始めたい方も、ぜひこの機会にじっくりピアサポートについて勉強してみませんか。 ※がんに関する相談をする場所ではありません。

募 集 要 項

■対象＝がん患者・がん患者のご家族で研修会に2日間ともに受講できる方

※最終治療後2年以上が経過して、現在病状が安定されているがん患者およびがん患者のご家族。

※過去に当センター主催の研修会に参加したことのある方も参加することができます。ピアサポート

は基本を繰り返し学ぶことで、ご自身の対応を見つめ直し、実践に役立てることができます。

■定員＝30名（定員に達し次第締め切ります） ■受講料＝無料

■申込方法＝受講申込書（沖縄県がん診療連携協議会サイトからダウンロード、または主催者へ問い合わせ）に必要事項を記入の上メール、郵送、FAX、または当センターへ直接ご持参下さい。（<http://www.okican.jp>）

■応募期間＝9月1日（日）～9月30日（月）必着

研 修 開 催 日 程 （ 計 2 日 間 ）

1日目：平成25年10月13日（日）10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目：平成25年10月14日（月・祝）9:00～16:00（8:30受付開始）

会 場**沖縄県医師会館** 〒901-1105 南風原町字新川218-9 ※地図は裏面をご覧ください。

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター

後援：沖縄県福祉保健部、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

☎：098-942-3407（直通） 098-895-3331（代表）（内線4358/4359）

fax：098-942-3408

e-mail：to-katsu@jim.u-ryukyuu.ac.jp

URL：（がんセンター）<http://www.ryukyucc.jp>（沖縄県がん診療連携協議会）<http://www.okican.jp>

■チラシ裏（A4両面フルカラー）

※修了者・県内患者会や医療機関に配布

研修プログラム内容

研修会では厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」により作成されたテキスト「研修テキスト がんピアサポーター編～これからピアサポートをはじめの人へ～」を使用します。ピアサポートとは何か、知っておきたい基礎知識や、シナリオを使つての模擬相談の実習など、これからのあなたの活動に役立つ情報や実践方法を学びます。※この研修プログラムは2日間通してのカリキュラムになります。



ピア（Peer）とは、「同じ立場」や「仲間」を意味します。「ピアサポート」とは、がんという病気を体験したことのある人やその家族などが仲間（ピア）として「体験を共有し、ともに考える」ことで、現在がんについて悩む患者さんやそのご家族などを支援していくことを指します。「ピアサポーター」とは、ご自身やご家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在がんで悩む人を支える人のことをいいます。

※昼食は、大変お手数ですがご自身でご用意いただくか、お近くの食堂やコンビニをご利用いただくこととなりますので、ご了承ください。（施設内は飲食可能です）

会場案内図



沖縄県医師会館
〒901-1105
南風原町字新川218-9

<アクセス>

沖縄都市モノレール首里駅前バス停から1番（首里牧志線）、または14番（牧志開南循環線）に乗り、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター前または新川営業所にて下車

お問合せ先:

沖縄県地域統括相談支援センター(琉球大学医学部附属病院内)

電話:098-942-3407(直通) / 098-895-3331(内線4358または4359)

(1) 無料広告掲載

平成25年9月12日(木) 週刊レキオ “あまくま情報局”掲載

▽がんピアサポート研修会～これからピアサポートをはじめる人へ～ 10月13日(日)10時半～17時、14日(月)9時～16時10分 県医師会館 募集期間：～9月30日(月) 無料 対象：がん患者・がん患者のご家族で2日間ともに受講できる方。最終治療後2年以上経過して、現在病状が安定されていること
定員：30人 受講申し込み：ホームページ・直接センターへ ☎098(942)3407 (県地域統括相談支援センター 島袋)

(2) 有料広告掲載

①平成25年9月19日(木) 週刊レキオ掲載

③平成25年9月19日(木) 琉球新報掲載

がんピアサポート研修会

がん患者・がん患者のご家族で、研修会に2日間ともに受講できる方
※最終治療後2年以上が経過していること
自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在がんで悩む人をサポートするための研修会です。

定員30名
受講料無料

■申込方法：事前申込み
※詳しくは主催者へ問い合わせまたは下記ホームページをご確認ください。
<http://www.okican.jp>

■応募締切：9/30(月)必着 (定員に達し次第締め切ります)
※がんに関する相談をする場所ではありません。

研修会日程
1日目 平成25年10月13日(日) 10:30～17:00(10:00受付開始)
2日目 平成25年10月14日(月・祝) 9:00～16:00 (8:30受付開始)
会場／沖縄県医師会館(南風原町字新川218-9)

主催：沖縄県地域統括相談支援センター
■共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター 後援：沖縄県福祉保健部、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

お問い合わせ ☎098-942-3407(直通)
☎098-895-3331(内線4358/4359)

②平成25年9月19日(木) 週刊ほ一むぷらざ掲載

がんピアサポート研修会

がん患者・がん患者のご家族で、研修会に2日間ともに受講できる方
※最終治療後2年以上が経過していること
自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在がんで悩む人をサポートするための研修会です。

定員30名
受講料無料

■申込方法：事前申込み
※詳しくは主催者へ問い合わせまたは下記ホームページをご確認ください。
<http://www.okican.jp>

■応募締切：9/30(月)必着 (定員に達し次第締め切ります)
※がんに関する相談をする場所ではありません。

研修会日程
1日 平成25年10月13日(日) 10:30～17:00(10:00受付開始)
2日 平成25年10月14日(月・祝) 9:00～16:00 (8:30受付開始)
会場／沖縄県医師会館(南風原町字新川218-9)

主催：沖縄県地域統括相談支援センター 共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター 後援：沖縄県福祉保健部、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

お問い合わせ ☎098-942-3407(直通) / ☎098-895-3331(内線4358/4359)

お知らせ

研修会

沖縄県地域統括相談支援センター主催
がんピアサポート研修会開催

がん患者さんやご家族を対象に「ピアサポート」に関わる基本的なスキルを身に付けていただくことを目的に開催します。今まで患者会などでピアサポート活動されてきた方も、これから始めたい方も、ぜひこの機会にじっくりピアサポートについて勉強してみませんか？

■ピアサポートとは、自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし現在がんで悩む人を支えることをいいます。
対象：がん患者・がん患者のご家族
※2日間ともに参加できる方
※最終治療後2年以上が経過していること。治療中の方は参加できません。

1日目：10月13日(日)
10:30～17:00(10:00受付)

2日目：10月14日(月・祝)
9:00～16:00(8:30受付)

会場：沖縄県医師会館
(南風原町字新川218-9)

内容：ピアサポートとは何か、知っておきたい基礎知識、シナリオを使っ
ての模擬相談の実習など
※がんに関する相談をする場所ではありません。

【お問合せ・申込み】
沖縄県地域統括相談支援センター
☎942-3407(直通) / 895-3331
(内線：4358 / 4359)
HP: <http://www.okican.jp>

④平成25年9月26日（木） 沖縄タイムス掲載

研修会開催

- がん患者
- がん患者のご家族

がんピアサポート 研修会

～これからピアサポートをはじめる人へ～

自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在がんで悩む人をサポートするための研修会です。

対象 がん患者・がん患者のご家族で、
研修会に2日間ともに受講できる方
※最終治療後2年以上が経過していること。

—— 研修開催日程（計2日間） ——

1日目 平成25年10月13日（日） 10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目 平成25年10月14日（月・祝） 9:00～16:00（8:30受付開始）

会場／沖縄県医師会館（南風原町字新川1218-9）

※がんに関する相談をする場所ではありません。

申込方法

■事前申込み
※詳しくは主催者へ問い合わせ
または下記ホームページをご確認ください。
<http://www.okican.jp>
9/30（月）必着（定員に達し次第締め切ります）

定員30名

受講料
無料

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

■共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター ■後援：沖縄県福祉保健部
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

お問い合わせ

☎098-942-3407（直通）

☎098-895-3331（内線4358/4359）

④平成25年9月19日（木） 宮古毎日新聞掲載

がんピアサポート研修会

対象 がん患者・がん患者のご家族で、
研修会に2日間ともに受講できる方
※最終治療後2年以上が経過していること。
自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在
がんで悩む人をサポートするための研修会です。

定員30名

受講料無料

■申込方法：事前申込み
※詳しくは主催者へ問い合わせまたは下記ホームページをご確認ください。
<http://www.okican.jp>

■応募締切：9/30（月）必着（定員に達し次第締め切ります）
※がんに関する相談をする場所ではありません。

研修開催日程

1日目 平成25年10月13日（日） 10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目 平成25年10月14日（月・祝） 9:00～16:00（8:30受付開始）

会場／沖縄県医師会館（南風原町字新川1218-9）

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

■共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター ■後援：沖縄県福祉保健部、
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

お問い合わせ

☎098-942-3407（直通）

☎098-895-3331（内線4358/4359）

④平成25年9月19日（木） 八重山毎日新聞掲載

がんピアサポート研修会

対象 がん患者・がん患者のご家族で、研修会に
2日間ともに受講できる方
※最終治療後2年以上が経過していること。
自身や家族のがんで悩んだ経験を活かし、現在がんで悩む人をサポートするための研修会です。

定員30名

受講料無料

■申込方法：事前申込み
※詳しくは主催者へ問い合わせまたは
下記ホームページをご確認ください。
<http://www.okican.jp>

■応募締切：9/30（月）必着
（定員に達し次第締め切ります）
※がんに関する相談をする場所ではありません。

研修開催日程

1日目 平成25年10月13日（日）
10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目 平成25年10月14日（月・祝）
9:00～16:00（8:30受付開始）

会場／沖縄県医師会館（南風原町字新川1218-9）

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

■共催：琉球大学医学部附属病院がんセンター
後援：沖縄県福祉保健部、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会、沖縄県臨床心理士会

お問い合わせ

☎098-942-3407（直通）

☎098-895-3331（内線4358/4359）

1日目:10月13日(日) 会場:沖縄県医師会館 2階 会議室1-4

時間	所要時間(分)	内容	講師・ファシリテーター
10:00-10:30	30	受付開始	
10:30-10:35	5	開会あいさつ	増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター センター長)
10:35-10:45	10	オリエンテーション	島袋 香織 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務)
10:45-12:00	75	講義1:ピアサポートとは何か・ピアサポート活動の実際	儀間 昌代先生 (特定医療法人 葦の会 オリブ山病院 緩和ケア認定看護師)
12:00-13:00	60	昼 食	
13:00-13:05	5	ファシリテーター紹介	島袋 香織
13:05-13:30	25	アイスブレイキング	栗山 登至先生 (琉球大学医学部附属病院がんセンター 医師)
13:30-13:50	20	DVD上映: ピアサポーターにとって大事なこと	栗山 登至先生
13:50-15:00	70	ワークショップ1: ピアサポーターにとって大事なこと	メインファシリテーター:栗山 登至先生
15:00-15:10	10	休 憩	サブファシリテーター: ○田畑 優美先生 (社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 臨床心理士)
15:10-16:40	90	ワークショップ2: 自分の体験を語る・まとめ	○島袋 恭子先生 (地方独立行政法人那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー) ○高江洲 アヤ子先生 (地方独立行政法人那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー)
16:40-16:50	10	アンケート記入	上原 弘美 (沖縄県地域統括相談支援センター ピアサポーター)
16:50-17:00	10	閉会あいさつ	増田 昌人

2日目:10月14日(月・祝) 会場:沖縄県医師会館 3階ホール

時間	所要時間(分)	内容	講師・ファシリテーター
8:30-9:00	30	受付開始	
9:00-9:05	5	開会あいさつ	増田 昌人
9:05-9:10	5	オリエンテーション	島袋 香織
9:10-10:10	60	講義2: がんの基礎知識と情報の集め方について	増田 昌人
10:10-10:20	10	休 憩	
10:20-10:40	20	DVD上映: よりよいコミュニケーションのために	加藤 愛先生 (医療法人 社団 輔仁会 田崎病院 デイ・ナイトケアスタッフ・臨床心理士)
10:40-11:40	60	講義3: よりよいコミュニケーションのために	加藤 愛先生
11:40-12:40	60	昼 食	
12:40-12:50	10	ロールプレイの説明・実演	メインファシリテーター: 仲本 譲先生 (琉球大学医学部附属病院 精神科神経科 助教)
12:50-13:40	50	ロールプレイ 1	サブファシリテーター: ○儀間 昌代先生 ○加藤 愛先生 ○内間 理沙先生 (社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院 医療ソーシャルワーカー)
13:40-14:10	30	ワークショップ 2: ロールプレイ 1の全体振り返り	○栗山 登至先生 ○大久保 礼子 (琉球大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー)
14:10-14:20	10	休 憩	○上原 弘美
14:20-15:10	50	ロールプレイ 2	
15:10-15:40	30	ワークショップ 3: ロールプレイ 2の全体振り返り	
15:40-15:50	10	アンケート記入・全体まとめ	上原 弘美
15:50-15:55	5	修了証授与	増田 昌人
15:55-16:00	5	閉会あいさつ	増田 昌人

氏名	ふりがな	所属・役職	備考
儀間 昌代	ぎま まさよ	特定医療法人 葦の会 オリブ山病院 緩和ケア認定看護師	講師(1日目) ファシリテーター(2日目)
田畑 優美	たばた ゆうみ	社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 臨床心理士	ファシリテーター (1日目)
島袋 恭子	しまぶくろ きょうこ	地方独立行政法人 那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー	ファシリテーター (1日目)
高江洲 アヤ子	たかえす あやこ	地方独立行政法人 那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー	ファシリテーター (1日目)
加藤 愛	かとう あい	医療法人 社団 輔仁会 田崎病院 デイ・ナイトケアスタッフ・臨床心理士	講師(2日目)、 ファシリテーター(2日目)
仲本 譲	なかもと ゆずる	琉球大学医学部附属病院 精神科神経科 助教	ファシリテーター (2日目)
内間 理沙	うちま りさ	社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院 医療ソーシャルワーカー	ファシリテーター (2日目)
栗山 登至	くりやま とし	琉球大学医学部附属病院がんセンター 医師	ファシリテーター (1・2日目)
大久保 礼子	おおくぼ れいこ	琉球大学医学部附属病院がんセンター 医療ソーシャルワーカー	ファシリテーター (2日目)
安里 千恵美	あさと ちえみ	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (1日目)
伊佐 順子	いさ じゅんこ	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (1日目)
福地 美里	ふくち みさと	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (1日目)
呉屋 葉子	ごや ようこ	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (1日目)
上原 綾子	うえはら あやこ	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (1日目)
天野 明日香	あまの あすか	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (2日目)
仲本 奈々	なかもと なな	琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員	事務スタッフ (2日目)
増田 昌人	ますだ まさと	沖縄県地域統括相談支援センター センター長	主催責任者 講師(2日目)
上原 弘美	うえはら ひろみ	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	ファシリテーター(2日目)
島袋 香織	しまぶくろ かおり	沖縄県地域統括相談支援センター 事務員	司会進行



沖縄県医師会館

〒901-1105

南風原町字新川218-9

TEL:098-888-0087 / FAX:098-888-0089

<アクセス>

沖縄都市モノレール首里駅前バス停から1番（首里牧志線）、または14番（牧志開南循環線）に乗り、沖縄県立南部医療センター・ども医療センター前または新川営業所にて下車



がんピアサポート 初級編(試行版)【研修会1日目】

- 日 時:平成25年10月13日(日)
- 会 場:沖縄県医師会館 会議室1・4
- 時 間:10:30-17:00

司会進行:島袋香織
(地域統括相談支援センター)

開始時間	終了時間	所要時間(分)	内容	担当
10:00	10:30	30	受 付	
10:30	10:35	5	主催者あいさつ	増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター センター長)
10:35	10:45	10	オリエンテーション	島袋 香織 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務員)
10:45	12:00	75	講義1: ピアサポートとは何か 1	儀間 昌代先生 (特定医療法人 葦の会 オリブ山病院 緩和ケア認定看護師)
12:00	13:00	60	昼 食	
13:00	13:05	5	ファシリテーター紹介	島袋 香織
13:05	13:30	25	アイスブレイキング	栗山 登至先生 (琉球大学医学部附属病院 がんセンター 医師)
13:30	13:50	20	DVD上映: ピアサポーターにとって大事なこと	栗山 登至先生
13:50	15:00	70	ワークショップ1: ピアサポーターにとって大事なこと	●メインファシリテーター:栗山 登至先生 ○サブファシリテーター: ・田畑 優美先生 (社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 臨床心理士) ・島袋 恭子先生 (地方独立行政法人那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー) ・高江洲 アヤ子先生 (地方独立行政法人那覇市立病院 医療ソーシャルワーカー)
15:00	15:10	10	休 憩	
15:40	16:40	60	ワークショップ2: 自分の体験を語る・まとめ	同上
16:40	16:50	10	アンケート記入	上原 弘美 (沖縄県地域統括相談支援センター ピアサポーター)
16:50	17:00	10	閉会あいさつ	増田 昌人

▼受付にて資料を配布



▼開会の挨拶(増田昌人センター長より)



▼講師: 儀間昌代先生



▼講義1: ピアサポートとは何か



▼午後の部: ファシリテーターの紹介



▼アイスブレイキング



▼ファシリテーター: 栗山登至先生



▼3つのグループでのワークショップ



▼各グループの発表(Aグループ
ファシリテーター:高江洲アヤ子先生



▼各グループの発表(Bグループ
ファシリテーター:島袋恭子先生



▼各グループの発表(Cグループ
ファシリテーター:田畑優美先生



▼閉会のあいさつ(増田センター長
より)



▼集合写真(受講生15名と講師・ファシリテーター6名)



がんピアサポート 初級編(試行版)【研修会2日目】

■日 時:平成24年10月14日(月・祝)
 ■会 場:沖縄県医師会館 3階 ホール
 ■時 間:9:00～16:00

司会進行:島袋香織
 (地域統括相談支援センター)

開始時間	終了時間	所要時間(分)	内容	担当
8:30	9:00	30	受 付	
9:00	9:05	5	開会あいさつ	増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター センター長)
9:05	9:10	10	オリエンテーション	島袋 香織 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務員)
9:10	10:10	60	講義2: がんの基礎知識と情報の集め方について	増田 昌人
10:10	10:20	10	休 憩	
10:20	10:40	20	DVD上映: よりよいコミュニケーションのために	加藤 愛先生 (医療法人 社団 輔仁会 田崎病院 デイ・ナイトケアスタッフ・臨床心理士)
10:40	11:40	60	講義3: よりよいコミュニケーションのために	加藤 愛先生
11:40	12:40	60	昼 食	
12:40	12:50	10	ロールプレイの説明・実演	●メインファシリテーター 仲本 譲先生 (琉球大学医学部附属病院 精神科神経科 助教) ○サブファシリテーター: ・加藤 愛先生 ・儀間 昌代先生 (特定医療法人 葦の会 オリブ山病院 緩和ケア認定看護師) ・内間 理沙先生 (社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院 医療ソーシャルワーカー) ・栗山 登至先生 (琉球大学医学部附属病院 がんセンター 医師) ・大久保 礼子 (琉球大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー) ・上原 弘美 (沖縄県地域統括相談支援センター ピアサポーター)
12:50	13:40	50	ロールプレイ 1	
13:40	14:10	30	ワークショップ 2: ロールプレイ1の全体振り返り	
14:10	14:20	10	休 憩	
14:20	15:10	50	ロールプレイ 2	
15:10	15:40	30	ワークショップ 3: ロールプレイ2の全体振り返り	
15:40	15:50	10	アンケート記入・全体まとめ	上原 弘美
15:50	15:55	5	修了証授与	増田 昌人
15:55	16:00	5	閉会あいさつ	増田 昌人

▼受付にて資料を配布



▼開会の挨拶(増田昌人センター長より)



▼講師: 増田昌人センター長



▼DVD上映



▼講師: 加藤愛先生



▼自己紹介の練習



▼ファシリテーター: 仲本譲先生



▼ロールプレイ実演



▼ロールプレイ(2ケース)



▼ロールプレイ



▼ロールプレイ



▼受講者からの感想



▼集合写真(受講生15名と講師・ファシリテーター6名)



1. 目的

当センター主催における研修会の内容の質の向上及び改善等を推進するため、また、当センターの評価に必要な資料の収集のため、参加者を対象としたアンケートを行った。

2. 内容

(1) 参加者属性

年齢・性別・お住まい・お立場、診断された部位

(2) 研修会の参加について

参加動機

(3) 講義について

理解度・満足度 等

(4) ワークショップについて

発言できたか、今後の活動に役立つか 等

(5) ロールプレイについて

ロールプレイできたか、感想 等

(6) 研修内容について

時間は妥当か、全体の内容の満足度、印象的だったこと 等

(7) 今後について

フォローアップ研修会参加意向、希望学習内容、今後の活動意向

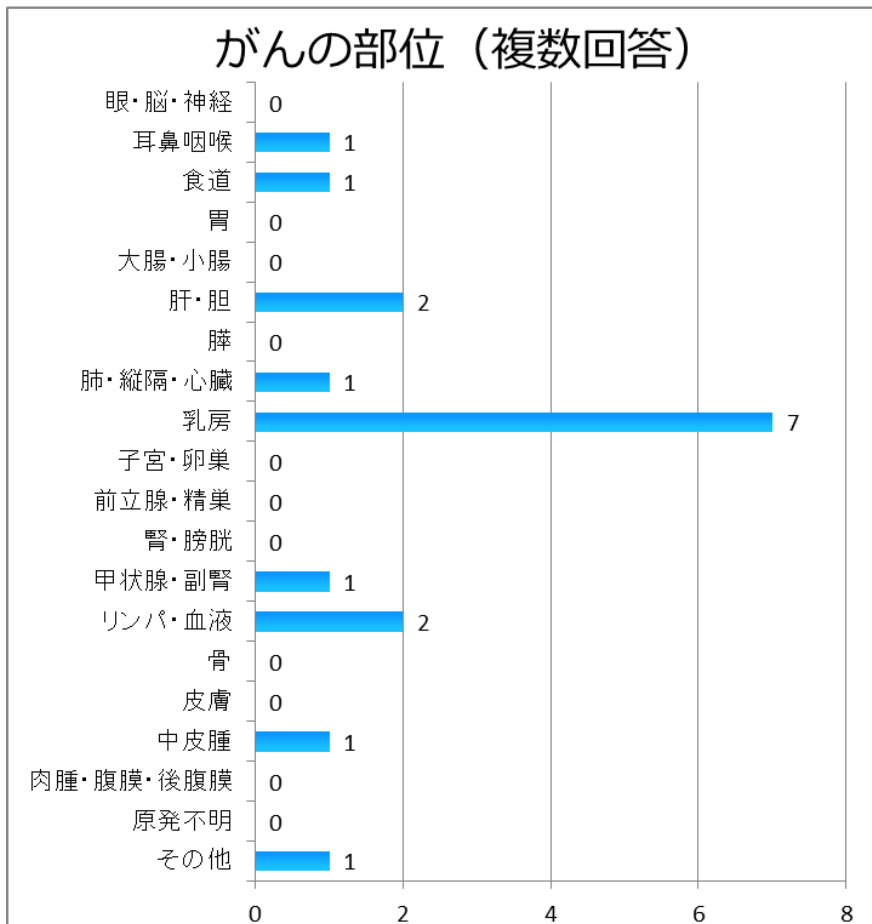
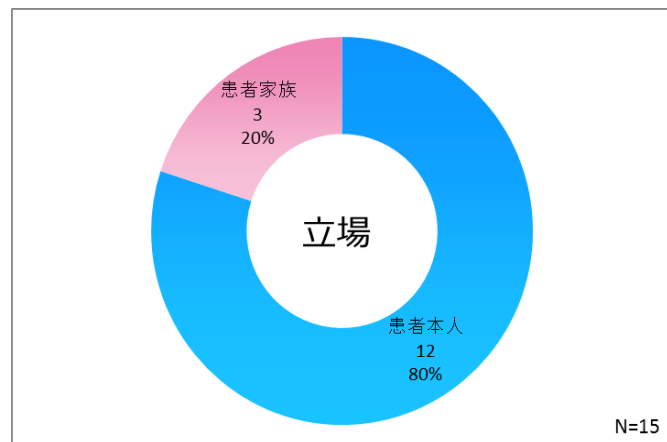
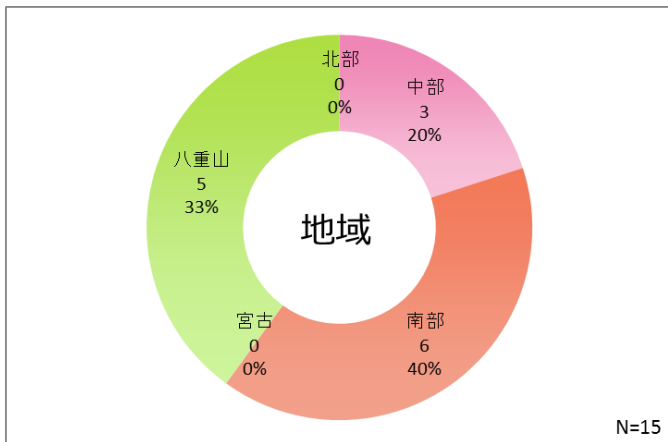
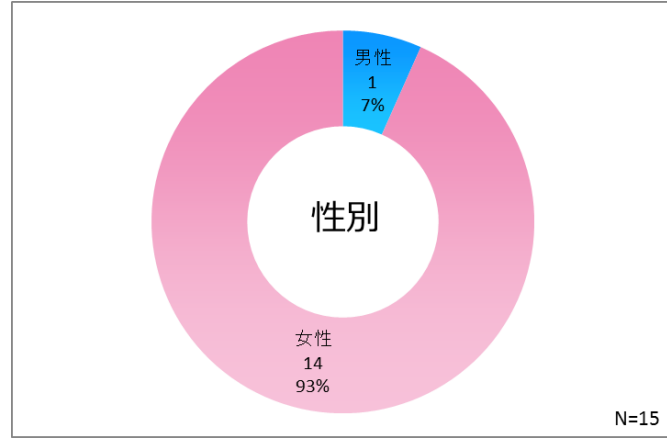
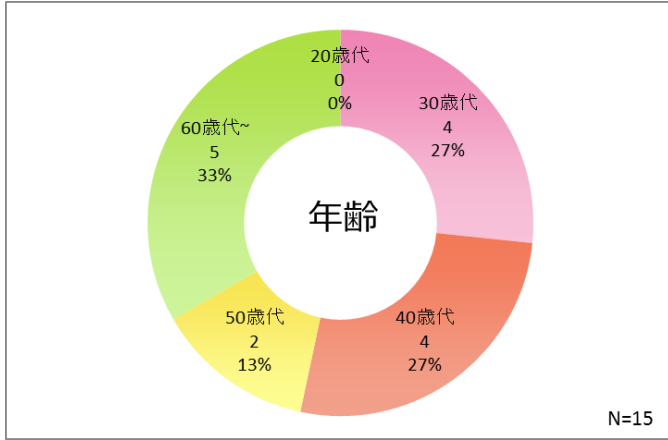
(8) ご意見・ご感想

3. 調査方法 紙媒体によるアンケート

4. 調査対象 参加者15名

5. 実施日 平成25年10月13日(日)、14日(月・祝)

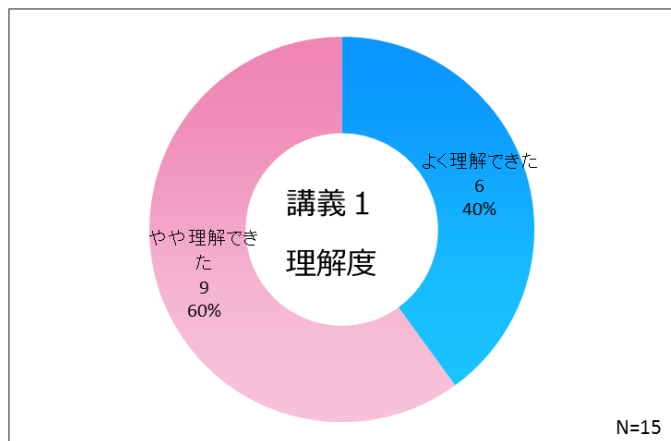
●1日目参加者: 15名(アンケート回収率100%)



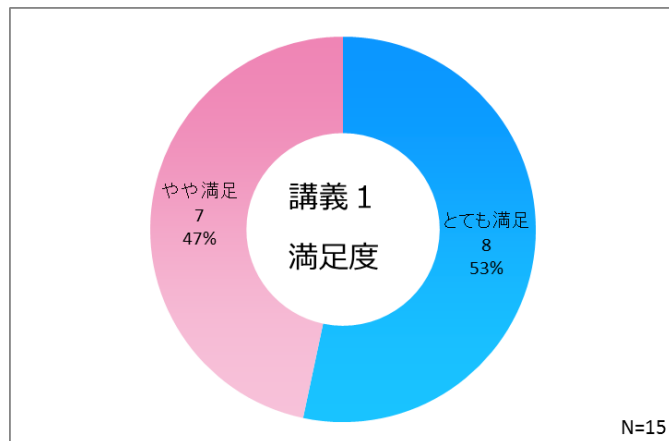
「がんピアサポート研修会」受講動機を教えてください。

- 誰かの為になりたいと受講しました。
- 自分自身の勉強の為
- 患者会の活動としてピアサポートを始めたい。
- ピアサポーターとして活動する際に必要だと思ったから。
- 対話する方法、情報を知りたかった。実際に活動する方の話を聞いてみたかった。
- 看護師・がん患者として患者さんやその家族をどう支援していけばいいのか、ピアサポートの基礎を学び活動していきたい。
- 母が乳がんを患って16年何事もなく経過しました。母の勧めで受講しました。
- ピアサポーターとしての知識を得たいと思っておりました。今日は楽しく過ごし、今後のピアサポーターとして頑張ります。
- 石垣島ゆんたく会にピアサポートの方がいないので、少しでもゆんたく会を広めたい、そして離島にもピアの人がいるんだと広めたくて申込みました。
- 自分の経験を少しでも生かせるために、学びたくて受講しました。同年代や同病になった方より連絡が来た時に感情移入することが多く、現在カウンセラーの勉強をしながらピアも学べるので幸せです。
- 同じ病気で困っている人が少しでも困らないように、何か小さなことでもできるようになれば良かった。
- 手術後5-6年経過し症状、状態安定しているので同じ経験を持つ方の支えになりたい。
- チラシが来て受けようと思った

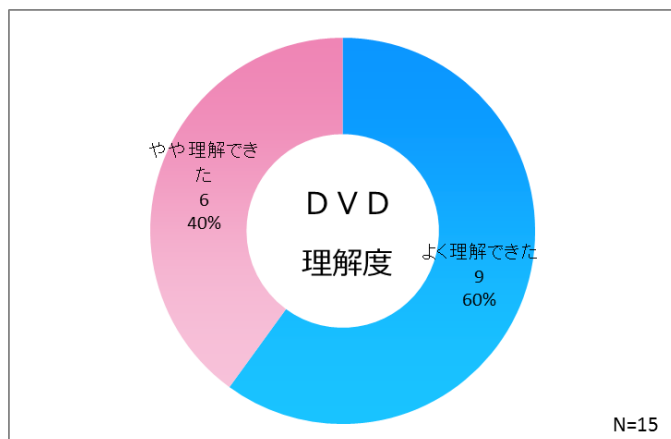
講義1「ピアサポートとは何か、活動の実際」の内容は理解できましたか？



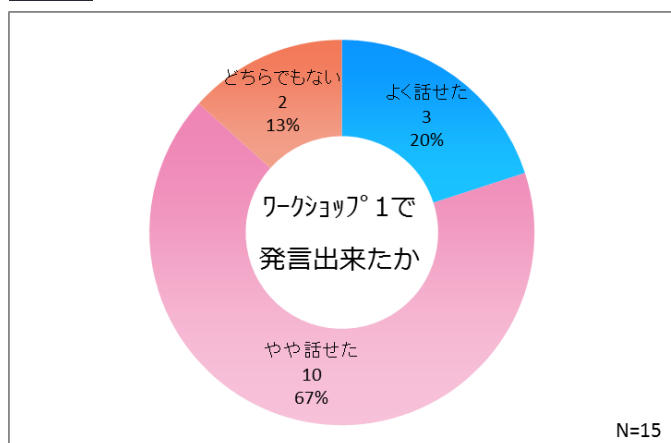
講義1の全般の内容はいかがでしたか？



DVD「ピアサポーターにとって大事なこと」を理解することが出来ましたか？



ワークショップ1「ピアサポーターにとって大事なこと」で発言できましたか、またその理由*を教えてください。



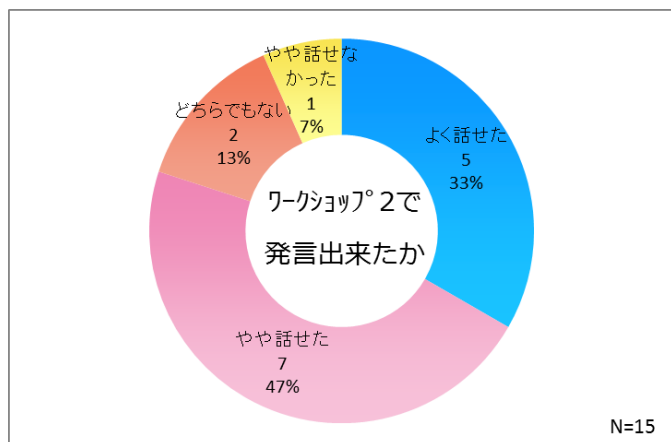
*よく話せた

- 患者会の中で個人情報の大切さを痛感しましたので
- 共感・傾聴することの大切さは難しいな一と感じた。
- 自分の思っている事は発信することが出来た。
- DVDがわかりやすく、テーマを絞りやすかった
- 場面を想像し、疑問点や問題点が思い浮かび、発言できた。

*やや話せた

- ピアの境界線を知る事が出来ました
- 書記だったから
- 自身の体験と今後の生き方を実感できました。
- 医療従事者でもあるので、参加者の考えを誘導してしまわないように気を付けるようにした。

ワークショップ2「自分の体験を語る」で発言できましたか、またその理由*を教えてください。



*よく話せた

- 一番不安な時間だったが、伝えられたと思う。
- 一人でも多くの方にピアサポーターとして自信をもって頑張っていける気がした。

*やや話せた

- 発言出来て胸がすっきりしました
- 自分の病名・体験を話すことは出来たが...
- まとめる時間が短かったので思いつままに話した。自分が避けたい話題に気づくのが遅れた。
- 辛かったことが、順を追って語れた様に思う。

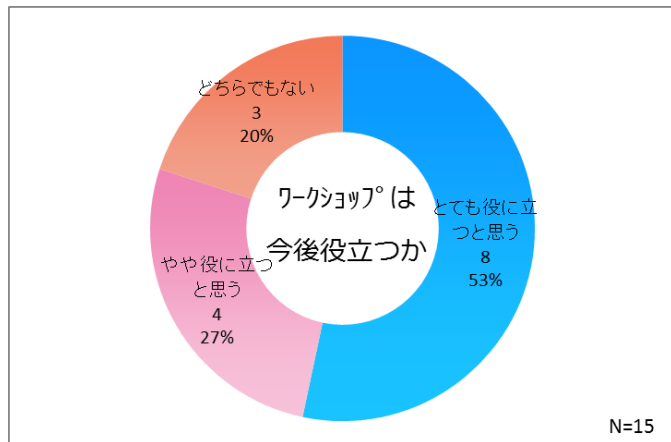
*どちらとも言えない

- 初対面なので話せないこともある

*やや話せなかった

- 語ることがまだできなかったけど、逆に一番つらくて乗り越えるのに必死だったんだと振り返り、ゆっくり心の整理をつけたい

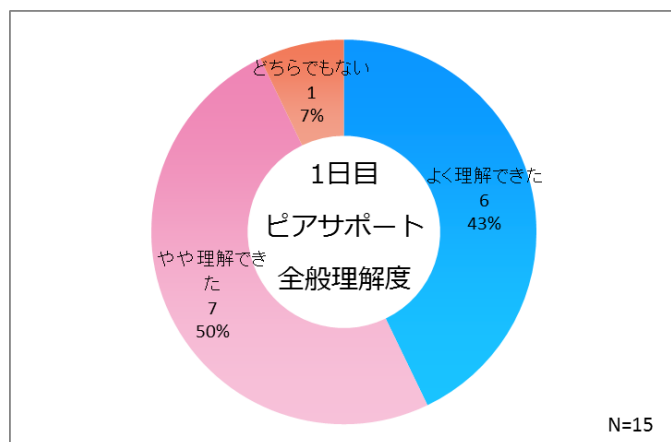
ワークショップでの学びは今後役に立ちますか、またその理由*を教えてください。



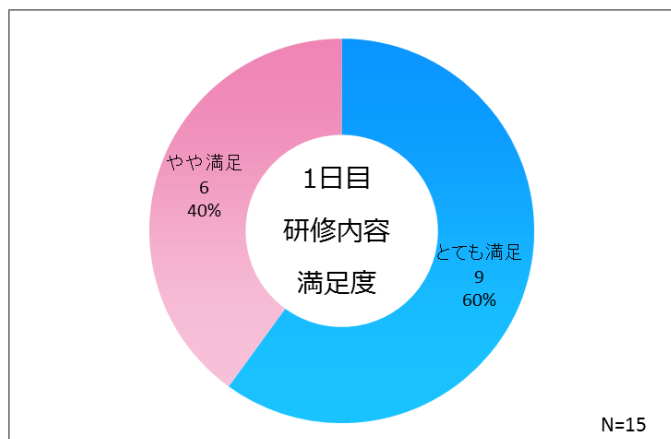
* とても役に立つと思う

- 相談に乗っているつもりが相手を傷つける場合もあるので基本的な知識を修得することが出来たから。
 - 逃げること、自分のできる限度、言い切ることも大事だと学んだ。
 - 色々と勉強になった。
 - 話を聞くことの大切さを学んだ。
- * やや役に立つと思う
- 今後大変役に立つと思います。
 - 自分の価値観を押し付けない、相手の話を聞きだす等、学んだ。
 - ピアサポーター自身を守るために「やらなくてもいいこと」をもう少し知ることができるといいと思いました。

1日目の研修を通して、ピアサポート全般について理解できましたか？



1日目の研修内容はいかがでしたか。またその理由*を教えてください。



* とても満足した

- 少しずつ実践出来そうな気がしています。
- 今の自分の心、急ぎすぎないで、今の健康に感謝と改めて思う。
- ピアサポートとは何か、大切なことはこれだという事を知ることが出来ました。
- 進行がとても良くて、安心して過ごせた。
- 皆様とお会いして色々な知識を得られたと思います。
- とても分かりやすく、丁寧に教えて下さったので良かったです。
- お年を召した方のお話をたくさん聞くことができ、感謝です。

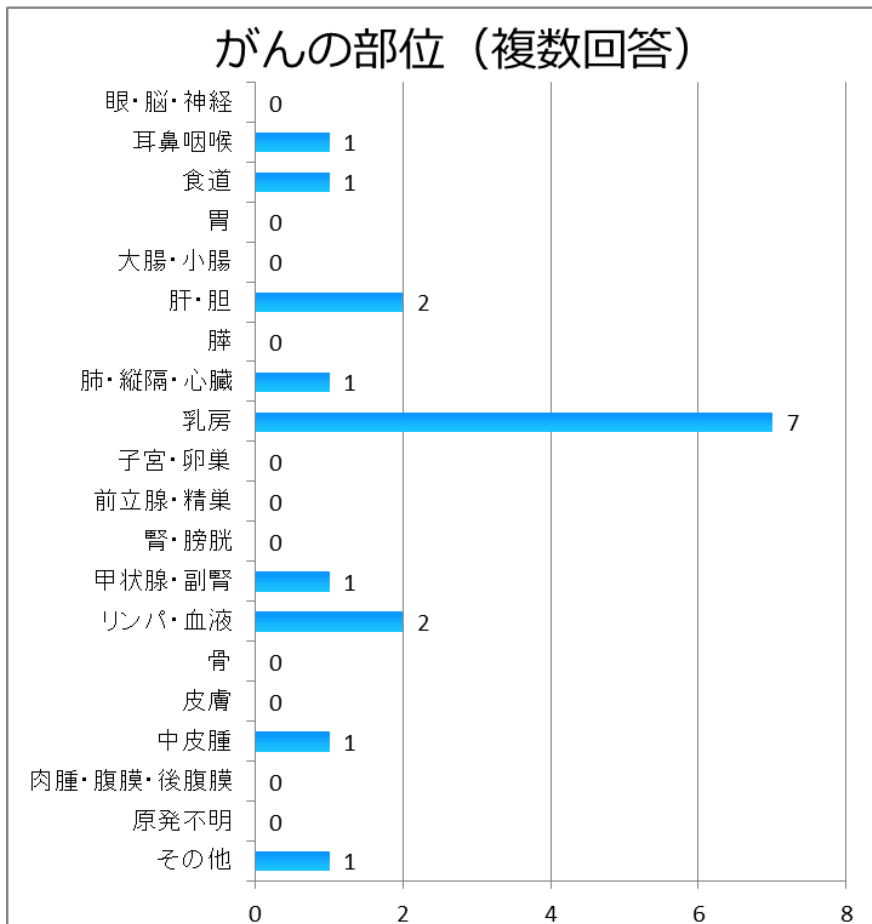
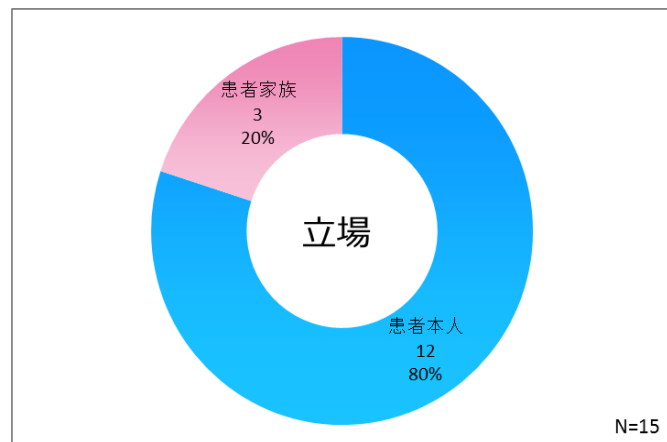
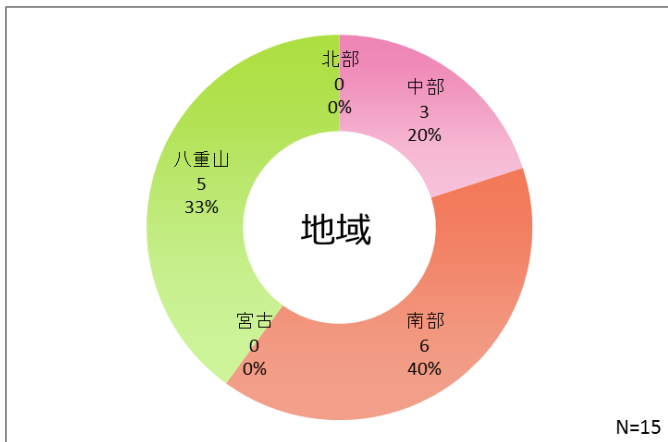
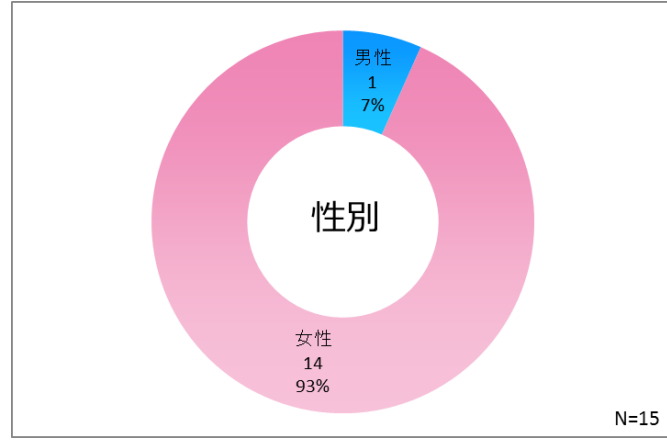
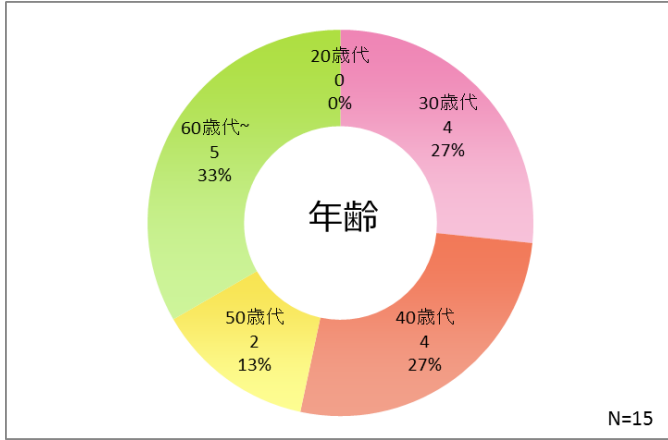
* やや満足した

- 様々な経験をした方の体験談を聞き、各人色々なご苦勞を生き抜いてこられた様子が伺えた。
- グループワークでメンバーのお話をきくことが出来て、仲間意識が生まれた。

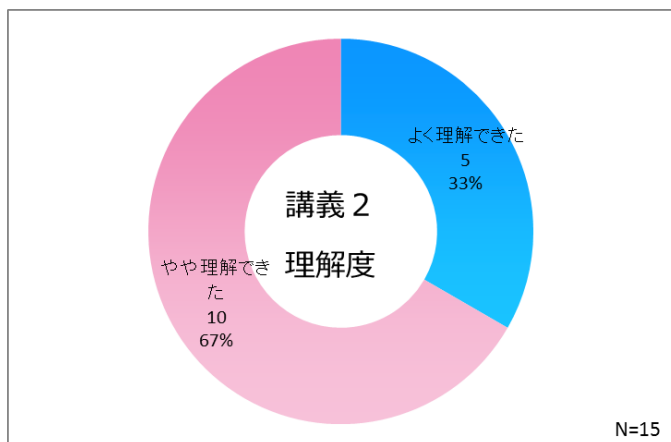
研修1日目のご感想・ご意見

- 今後もピアサポート研修会・講習会に参加できることを希望します。
- 感謝しています。これからも宜しくお願い致します。
- 今後も今日のような受講が受けられたらいいと思います。
- 医療従事者のピアサポートは難しいと思いました。
- 現在、ゆんたく会として活動している中で、個別の相談が出てきた時に、会として、どのように対応し、記録の方法、管理等を教えて欲しい。
- 学びの場を提供していただけるのは有難いです。こういう場でなければ聞けない事もありよかったです。

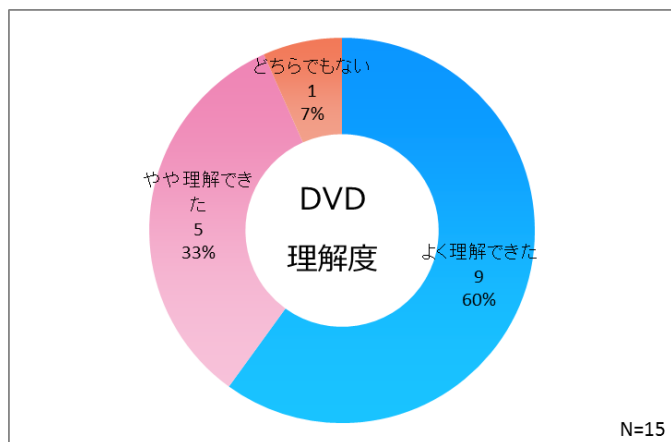
●2日目参加者: 15名(アンケート回収率100%)



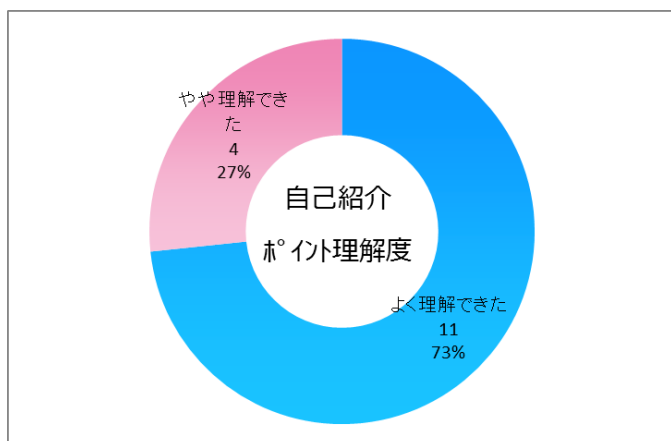
講義2「がんの基礎知識」の内容は理解できましたか？



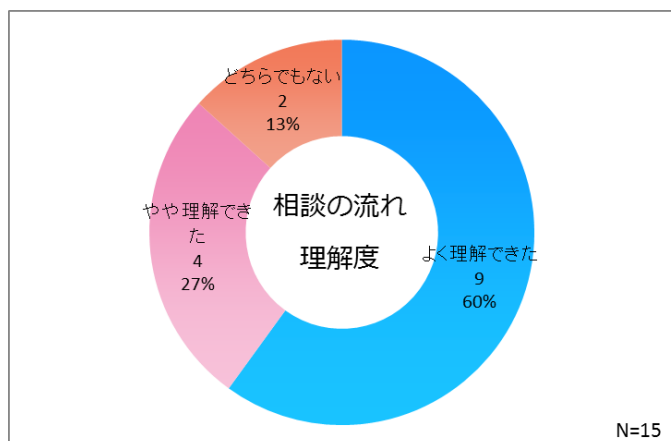
DVD「より良いコミュニケーションのために」を理解することができましたか？



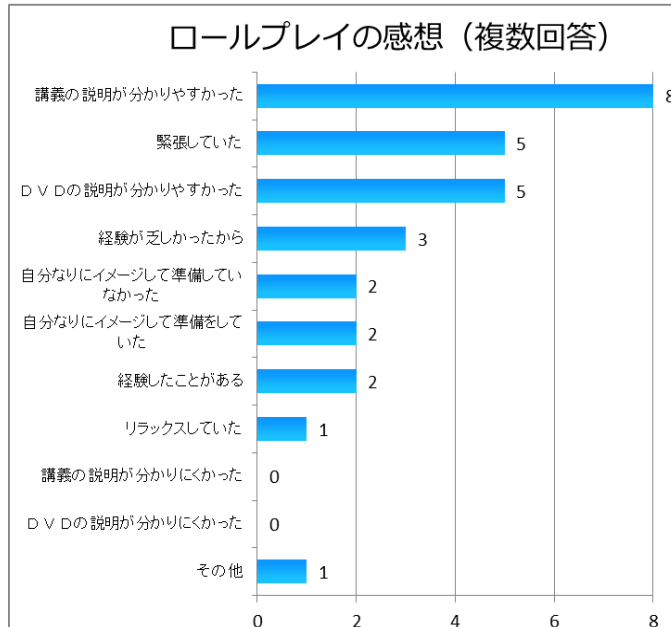
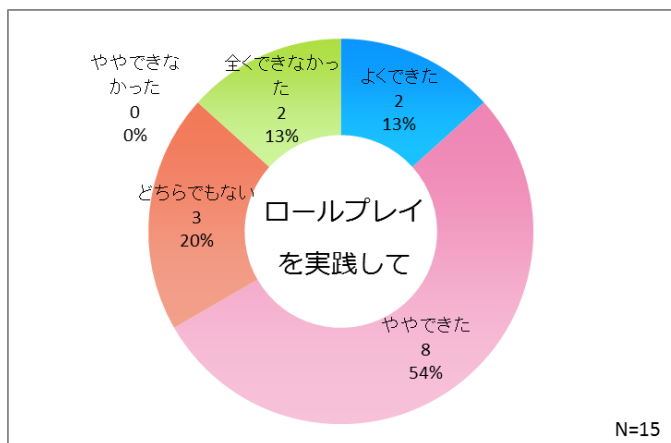
「よりよいコミュニケーションのために」の中にある、自己紹介や座り方、表情などの注意点を理解できましたか？



「よりよいコミュニケーションのために」の中にある、相談の始め方、話す手助けについて理解できましたか？



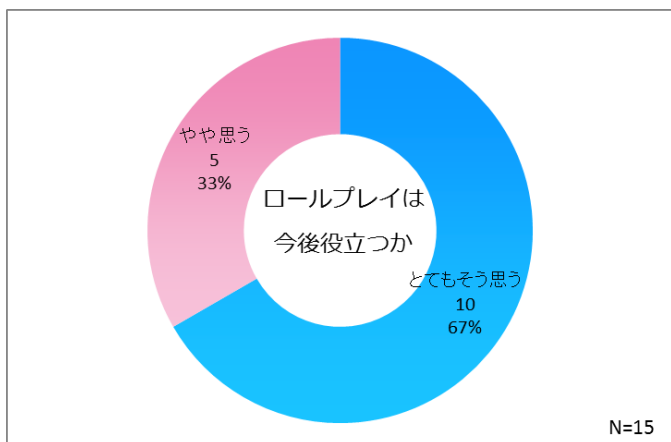
ロールプレイを実践してみて、いかがでしたか？また*その理由を教えてください。



ロールプレイの実習の感想を具体的に教えて下さい。

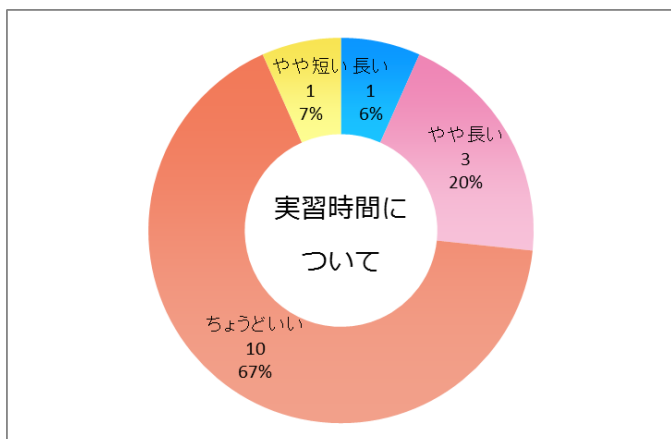
- あいづち、繰り返しなど大切なことだなーと思いました。
- 「傾聴」で失敗しました。ロールプレイ2で重い相談の中、「自分は生きていてもしょうがない、必要のない人間なんだ」と言われたとき、何も言えずただうなづくことが出来なかった。
- 自分が思っていた事を口に出して言うのは難しい。でも1回目よりも2回目と少しずつ言えたのでよかったと思う。
- 緊張したけど説明してもらえたのでなんとかできたと思う。
- とても興味深かった。実生活でも役に立つ感じがした。
- ロールプレイは初体験で間の取り方、相づちのうち方が大変でした。
- ピアサポートは難しかったが経験を重ねていくうちに自信がついていくように思った
- 相手の求めている事が明確に分からないので難しかった
- 実際に役に立つようにどちらの役も相手に失礼のないように行うよう心がけた

ロールプレイでの実習は今後のピアサポート活動に役立つと思いますか、またその理由*を教えてください。

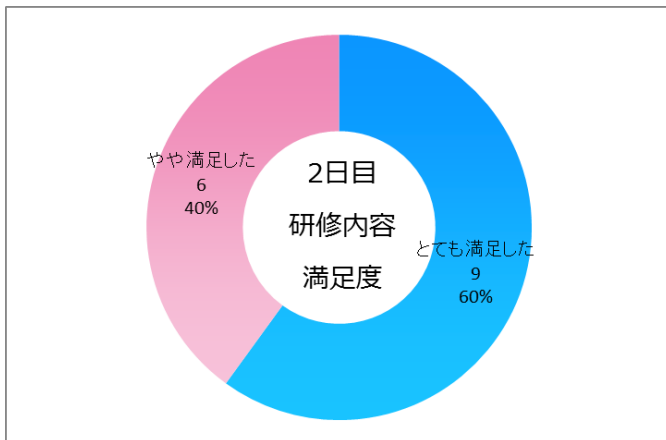


- 回を重ねた訓練が必要だと実感しました。
- ロールプレイをする事で相談者の立場・ピアサポートの立場等が分かったので、役に立つと思いました。
- 答えを出さなくていいんだ、自分ひとりで抱え込まない等学ぶ事が出来た。
- リアルな内容だったのでとても勉強になりました。
- 考えているより実際に試してみたら第三者の方からアドバイスをいただけるのはありがたいし勉強になりました。
- 実際の相談だと固まるかもですが、やって良かったと思います。
- 理論だけでなく、実際に自分で体験することによって今後、実践に移すことが出来る。
- 他の方のピアサポーターの様子を見て私自身もっと相手のお話をゆっくり聞いてあげる様にと反省しました。
- ピアサポーターとしての要点(あいづち、くり返し、傾聴等)を学ぶことができた
- 専門家への相談を勧める場合の専門家をどのように勧めていくか？

本日のロールプレイでの実習時間は妥当でしたか？



2日目の研修内容はいかがでしたか。またその理由*を教えてください。



*とても満足した

- 時間配分、内容等良かった
- 1日目は良かったのですが、2日目はちょっと始まり時間は早いかなと感じた。
- 私はまだ相談者側に近い立場ですが、これから先に来られる方のいろんな想い、複雑な感情というのを忘れないでおこうと思います。
- とても良い時間割でしたので、気合で学ぶことができました。
- ちょうどいいと思う。1日目は少し緊張もあり、疲れがでたが、とてもよい時間配分でサポーターの方々や講師の先生に感謝です。
- もっと長い時間受けたい
- また参加したい
- フォローアップ研修を時々やっていただきたい。

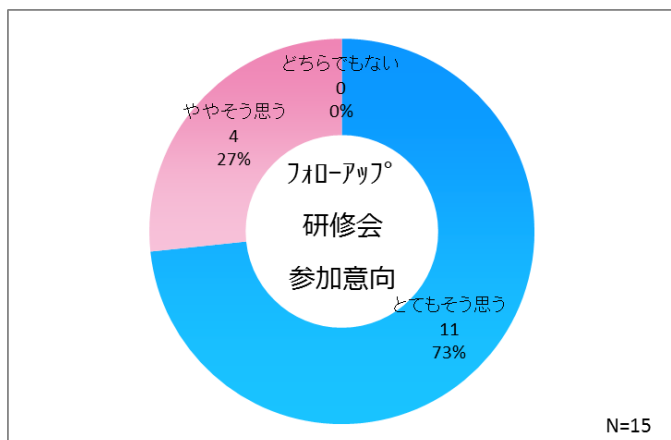
*やや満足した

- 少ない人数だったので良かったです。
- とても良い学びの場でした。ありがとうございました。
- 地域によって少々変わると思います。

2日目の研修を通して新たな発見や気づき、印象に残っていることがあれば教えてください。

- 話を聞くことの難しさ
- サポーターとしての心構えや会話(コミュニケーション)のとり方等とても勉強になりました。
- 聞くてこんなに難しいんだなと感じました。講習でわかってはいたけど、2日目のロールプレイでは聞くて本当に深いと思いました。
- ピアサポートはどういう事かよく話を聞く、相手が話しやすい配慮等知ることができて良かった。
- 体験者からなる今回の研修会で、自分の心の整理がまだ十分でないのだと気づき、病気になる前の自分でありたい、自分になろうとの想いでまだまだ気が張っているなあと感じています。ゆっくりゆっくり今の健康と家族で当たり前の生活が送れている今を感謝していきます。
- 年齢層が様々で学ぶことが多くすごく良かったです。みなさんが様々な活動や経験を教え、アドバイスをくださったので、ありがたく思います。
- 自分の体験談が想像以上に役に立つことが分かって良かった。
- とても勉強になりました。また友達も出来て良かったと思います。
- 自分に出来ること出来ないことの区別が分かっただけでも大発見。(傾聴、後まで引きずらない等)自分に出来ることを精いっぱいやりたいと思います。
- ピアサポーターにつなぐシステムをつくと相談者もサポーターも対応しやすくなるのではないかと思った。ピアはピアであるということを明確にしないと相談者が混乱してしまいそうでサポーターも負担になるのでは。
- 医者の著書がすばらしいと思ってました。それが90%嘘ということ、それとがんを治すという家庭訪問の医薬品(サプリメント)、ハーブ等について知ることが出来た。

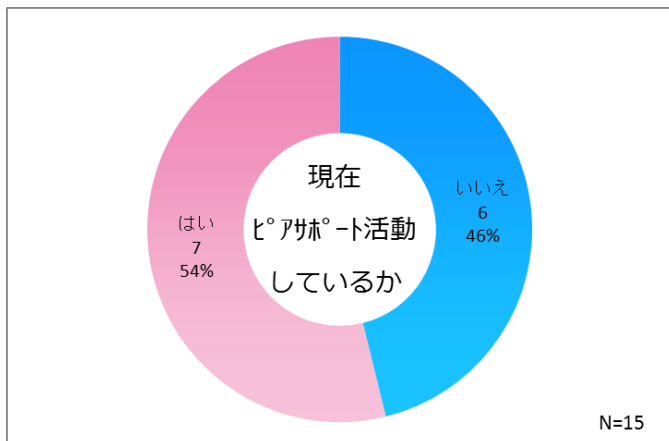
今後もスキルアップのために事例検討会やフォローアップ研修会に参加したいと思いませんか？



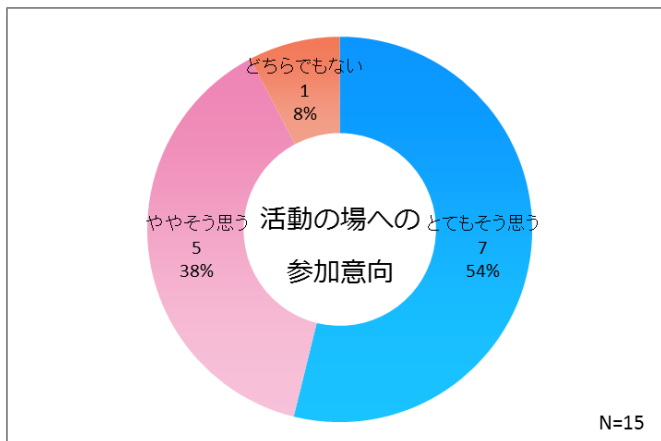
* 希望する学習内容があれば具体的にお書き下さい。

- 回を重ねる訓練の必要性を感じました。ロールプレイを多く取り入れて頂きたい。相談者が重症の方、ご家族(夫、妻、子供、親)の設定等
- 実際の相談内容を通しての事例検討
- ロールプレイは大事だと思う。ロールプレイを通してメンタルケアのお話をもっと聞いてみたいと思った。
- ワークショップを充実する方向が良いのかな？
- がん患者の退院後のケア等含めたプログラムが入るといいと思います。
- “教育分析”のようなサポーター側の心の整理

現在、患者会活動やピアサポート活動を行っていますか？



今後、ピアサポート活動できる場があれば参加したいと思いませんか？



ご意見・ご感想

- ロールプレイが難しかったです。回数を増やしていけば少し自信がついてくると思いました。
- セカンドオピニオンの重要性を改めて認識しました。ただ、抗がん剤や放射線治療など、お金のかかる時を控え、自費(約30分、約1万円)のセカンドオピニオンを受けることにためらう方、経済的にあきらめる方々がいると思います。今後国の医療保険制度の中に組み入れていただける様な働きかけも必要ではないかと思えます。
- 2日間本当にありがとうございました。ずっとピアサポートの研修を受けたいと思っていましたが、離島からだったのでなかなか時間が合わず、このまま受けられないのかなと思っていましたが、連休2日間続けてくれたので、本当にありがたく思います。また、講習の内容もとても分かりやすく良かったです。2日間とありがとうございました。

ご意見・ご感想 (つづき)

- 職場の中でいろんな方と接していく中で一言の声のかけ方、返す言葉を考えていきます。話を聞く側の姿勢実践していける様、日々学んでいきたいです。
- 先生方のお話がとても丁寧で分かりやすく、学ぶことができました。早速これから活かしていきたいと思います。一人でも多くのピアサポーターにより、「がん」に対しての不安や心構えに繋がればと思います。
- 会を開いて運営してくださったスタッフさんの心配りがとても良くて感激しました。集ったピアサポーターの研修生の方々も大変な中、人の為にと頑張っていらっしゃる姿にも感動でした。もっともこの会の良さを人々に知ってほしいなと思いました。修了証書、うれしかったです。
- 大変だと思いますが、今後もこういう会を継続してください！
- がん患者は情報が少ない。又退院後は孤独である。術前と術後のケアが大切である。特に術後また通院中の方、等も退院後
- また参加したいです
- 「がんの基礎知識」の午前の講演はとても素晴らしいと思いました。いろんな情報が氾濫している中、正しいがんの知識を学ぶことができました。正しい情報を得る手段も知ることができました。増田先生の講演をもっと開催していただきたいです。※初日の栗山先生の要所要所のアドバイス、とても心強く感じました。ありがとうございました。
- ピアサポーターの先輩から講義を受けたいと思いました。ピアサポーターは「専門職じゃない」と講義中に言っていたが、講師はみな専門職だったので。